

経済産業部



Point

ソーシャルビジネス55選について

経済産業省では、社会的課題を解決するビジネスとして、また、地域における安定的かつ継続的な雇用創出の受け皿として期待が高まる「ソーシャルビジネス」(注)を支援しています。この度、ソーシャルビジネスの取組を広く世の中に普及することを目的として、全国の先進的なソーシャルビジネスの事例を整理し、特徴的な強みを持つ先進的な取組をしている55事業者を「ソーシャルビジネス55選」として3月19日付けで選定しました。

(注)「注」ソーシャルビジネスとは、町おこし・村おこし、少子高齢化、環境、貧困問題といった社会的課題をビジネスとして事業性を確保しながら自ら解決しようとする活動。

沖縄県内の選定事例
有限会社 やんばる自然塾

(事業概要)

やんばる自然塾は平成11年に沖縄県東村慶佐次(げ)で地域おこしの取組から生まれた地域主体の自然学校です。マングロープなどを活かし地域特性にこだわった少人数のエコツアープログラムや修学旅行の自然体験・文化体験プログラムなどの仕組みを作り、沖縄県での体験プログラムの先駆けでもあります。亜熱帯の豊かな自然や日本本土と異なる特異の文化と歴史・心温かい地域との交流などの体験プログラムを国指定天然記念物のマングロープが群生する慶佐次川(げ)をホームグラウンドに東村ですべての

プログラムが行われます。

体験学習の5つの柱は 安全の確保、環境への配慮、体験で地域を知る、地域への還元、地域ガイドになっています。

また、環境保全のため体験者の方より環境協力金を体験費と一緒に預かる仕組みを平成13年度から始めて、今年で8年になります。平成19年度分(228万円)を東村役場に環境保全活動基金として寄付し、東村の環境保全のために活用しています。

これまでにやんばる自然塾の体験プログラムに参加した学校は平成12年〜平成19年度末北海道から九州までの42都道府県、1600校余りとなりました。



カヤックツアー



スタッフ、フィールド清掃



マングローブトレッキング

特定非営利活動法人 島の風

(事業概要)

NPO法人島の風は、島のこしが島おこしの「ミッション」のもとで、沖縄県伊是名島に点在する空き家になった古民家を地元若者と共に再生し、観光の資源として有効に活用する「古民家再生事業」を中心に活動しています。従来の、商品提供型「観光から島を残し、守り、伝える新しい運動提案型」観光を目指し、住民自らが運営する「コミュニティリズム」(観光版「コミュニティビジネス」を推進しています。古民家再生プロジェクトとは伊是名島の中で無人になり、風雨にさらされ朽ち果てようとしている民家を修復再生して島の風景を守るとともに、その施設を有効に活用することで周辺の住民にメン



1棟目「がーぺーちん」再生前



リフォーム風景



1棟目「がーぺーちん」再生後

テナスリネンサービス等の就労の機会を創出し、ビジネス化していくという取組で、その第1棟目である島暮らし体験の宿「がーぺーちん」に続き、第2棟目、あんじょやが運用を開始しています。さらに本年3棟目、4棟目の再生もスタートする予定です。

また、リサイクル「3問題等環境保全の取組も行っており、伊是名村環境の日の企画運営や、2010伊是名村マイバグ宣言」を受け、その推進活動の中心を担っています。さらには「夏祭りにおける伝統的行事、いざなハリー大会」を復興させるなど、島の元気の素となるさまざまな活動を行っています。

(「がーぺーちん」「あんじょや」とはこの家が昔から代々呼ばれてきた屋号。)